



三珠中だより

学校だより 第8号
令和3年11月11日
発行：仙洞田和男

<PTAホムダより>



11.5 『道徳教育研究推進校授業研究会』を実施！



令和元年度からの3年間、山梨県教育委員会より「道徳教育推進校事業」の指定を受け、本年度が最終年度となりました。「**心豊かで、確かな学力を持ち、主体的に活動する生徒の育成**」を研究主題とし、「**生徒が主体的に考え、議論することのできる道徳科の工夫**」をサブテーマに掲げて研究を重ねてきました。そして、11月5日（金）に公開授業を実施する運びとなりました。

研究1年目は、「道徳科授業づくりシート」をもとに授業案を作成し、研究授業を行い、それを「道徳授業づくりチェックシート」として蓄積しました。**研究2年目**は、新型コロナウイルスの影響により、臨時休校となった約2ヶ月間は理論研究を中心とした研究を進め、非常事態宣言解除後の6月から9月にかけて、3回の研究授業を行いました。**研究最終年度の今年度**は、昨年度の課題として出された、「生徒の意見を「つなぐ」ためのどのような補助発問が有効か」、「本時のねらい（内容項目）に迫るためにはどのような問い返しが必要か」、「話し合いを通して、一人一人の考えが深まるために、どのように授業を進めていくか」、「議論が深まるためには、どのような中心発問が良いのか」等をもとに、研究の中心を「発問の工夫」と「議論するための工夫」ということに焦点化することにし、研究を進めていきました。

本来でしたら、保護者や地域の方を招いて、「オープンスクール」という形で参観していただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、峡南・中巨摩・北巨摩地区の各中学校、そして高等学校の**道徳推進教師**の先生方、およそ45名ほどの参加者に絞る中での研究授業となりました。



公開当日は、2年B組（体育館）と3年B組（ランチルーム）の授業を先生方に参観していただきました。2年B組では、担任の泉先生が「**夢中になることは悪いこと？**」という教材を使い、「**望ましい生活習慣（節度・節制）**」について考える授業を行い、3年B組では、担任の雨宮先生が「**手品師**」という教材を使い、「**自分で判断すること（自主・自律・自由と責任）**」について考える授業を行いました。密集を避けるため、いつもの教室とは違う環境での授業となりましたが、生徒たちは一生懸命授業に集中し、主体的に考え、仲間と議論をしながら考えを深めていました。

この公開のために授業を提供していただいた泉先生・雨宮先生、そして2Bと3Bの生徒の皆さん、素晴らしい授業をありがとうございました。



1年生町内めぐり！（ふるさとキャリア教育）

10月29日（金）、1年生が地域めぐりを実施しました。「ふるさとキャリア教育（みさと学）」の一環として、これまで峡南地域を見学していましたが、「**自分たちの住む市川三郷町の歴史的遺産や文化施設を見学したり、伝統文化を体験したりすることで、地域を知るとともに地域を愛する心を育む**」ことを目的とし、町内をじっくり見学しました。桑郷では、桑の葉による「健康茶」を作っているハンさんから説明をしてもらいました。そして花火資料館の見学、生涯学習センター体育館では「線香花火づくり」も体験しました。その後、青洲高校を訪れ、新しい校舎内を案内してもらうとともに、昼食も高校内でとりました。午後からは、グループごとに町内を歩いて見学し、最終ゴールの三珠支所に到着しました。



3年生思春期体験

10月19日（火）、3年生が「思春期体験学習」を実施しました。峡南教育事務所・町いきいき健康課の方々をお招きして、「**生命誕生のしくみを知ることで命の大切さへの意識を高め、妊婦体験や赤ちゃん人形抱っこ体験等を行うことで親になることの意味と責任について考え、命を守り育てる気持ちを持つ**」ことを目的に実施しました。

妊婦体験では、妊婦に近い状態にするため、おもりを体につけて寝転んだり、階段の上り下り、荷物を持ったり、靴下を履いてみたりと、妊婦の大変さを体感しました。また、慣れない手つきで赤ちゃんの抱き方やおむつの替え方を学んだりしました。



山梨県・市川三郷町の地域感染レベルは「1」



9月30日、全国一斉に「緊急事態宣言」「まん延防止等重点措置」が解除されから11月までの1ヶ月余りは、新型コロナウイルス新規感染者の減少が続いています。山梨県も地域感染レベルを「1」に引き下げるなど、全国的にも落ち着いた日常を取り戻しつつある状況となっており、学校としても少し安心といったところでしょうか。しかし、世界を見ると、ロシアやヨーロッパでは感染が再拡大しており、日本にもいつ「第6波」が来るかもわかりません。山梨県も、11月30日までは「新型コロナウイルス感染拡大防止への協力要請」が出されている状況ですので、気を緩めることなく「マスク着用」「手洗い」「身体的距離の確保」などの基本的な対策は徹底していきたいと考えています。部活動においても室内種目の大会については「無観客」での開催となっていて、普段の練習試合においても同様に、見学は控えていただいている状況です。保護者の皆様には、学校に足を運んでいただける機会をなかなか持つことができず、心苦しく残念でありませんが、是非ともご理解の上、今後も三珠中教育活動のためにご協力をお願いします。